

社会福祉法人ぶどうの木
2023年度事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

I 概況

2023年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、感染症対策は各施設の判断となりましたが、ロゴス点字図書館は引き続き手洗いや換気等、対策に努めました。業務においては、オンラインによる会議等に対応しながら、県外など現地開催の大会・研修会等に参加する機会が増え、他施設の方々とのコミュニケーションが増えた年でもありました。勉強会等では、Zoomと来館のハイブリッド開催をして、より参加しやすいよう、コロナ対応の際に合理化された方法も取り入れながら業務を遂行しました。

2023年度は創立70周年を迎え、新たな気持ちで次の10年を歩み始めました。現在、当たり前のようにできている業務は、多くの先人の考えや思い、そして努力があったからこそです。障害者基本法、障害者差別解消法、著作権法、読書バリアフリー法等国を動かした法改正や情報保障、普及啓発など、今後私たちがバトンを受け取り発展させ、そしてそれが利用者への情報提供の充実につながるようにしなければいけません。この1年間、それらを意識し、ロゴスとして取り組んだ成果をご報告いたします。

II 重点施策

1. 電子書籍（テキストデータ・テキストデイジー）製作促進

2022年度に開催したテキストデイジー研修会で、テキストデータ化とテキストデイジー製作について勉強したボランティアが活動に入りました。テキストデータは、視覚障害者等が音声読み上げソフトを用いて、パソコン等で読み上げることができる、大切な情報源です。職員とボランティアが試行錯誤しながらも、技術を習得し、また全国の利用者も使用できるよう、サピエ図書館の製作基準に合わせ製作を進めることができました。画像データを文字データに変換するOCRソフトも、他の施設から情報を収集し、相談しながら効率よく作業できる方法を検討しました。

2024年度にサピエ図書館のテキストデイジーコンテンツ審査に挑戦できるまで技術は向上しています。この1年間で、ボランティアの活動体制と製作能力が備わりました。今後も利用者の選択の幅が広がるよう、進めていきます。

2. 「フィラデルフィア会・声の文庫」テープ図書のデイジー化完了

社会福祉法人設立のために必要だった録音図書は、「フィラデルフィア会・声の文庫」から移管された3,500タイトルのテープ図書でした。視覚障害者等を取りまく状況は変化し、現在はデジタルの時代となり、利用者は「デイジー図書」で読書を楽しんでいます。この、デイジー図書製作に取り組み始めた2000年から、新たに製作する録音図書と並行して、ボランティアの協力のもと、移管されたテープ図書のデイジー化に取り組んできました。音源をアナログからデジタルに変換し、さらにデイジー編集するという手間と時間のかかる作

業ですが、デジター編集が軌道に乗ってくると、協力ボランティアの数も増加し、新刊図書案内「ロゴスのほん箱」で紹介するたびに、利用者からの希望は絶えませんでした。利用者もカセットデッキを所有しなくなり、デジター図書のみ使用するようになった状況において、この事業はまさに「蘇るテープ図書」でした。膨大なタイトル数のテープ図書を一気にすべてデジター図書にすることは、予算的に難しく、地道に製作していくしかありませんでしたが、当初の予定より数年早く、無事デジター化を完了することができました。ロゴスの所蔵するテープ図書のデジター版を提供し、サピエ図書館を通して全国の方々にも楽しんでいただけることができています。

今後は、これらの図書を利用者にいつでも貸し出せるよう、しっかり保存していきます。「ロゴスのほん箱」でも、改めて紹介する機会を持ち、利用者の読書が豊かになるよう、支援します。

3. 全国の動きを見据えた業務の対応・サービスの充実

施設・団体向けの全国の大会等では、サービスや製作において、新たな方法、変更する事項等が報告されます。ロゴスでは、こうした動きに対応するために、多くの研修に出席しました。サピエ研修会では、サピエの活用方法やシステム改修の説明、最近改訂された製作基準の講義等がありました。目録研修会では、利用者がサピエ図書館で本が探しやすいよう、書誌入力規則について勉強しました。これらを職員が理解し、現場で実践しています。また、2024年3月は、システム改修のためサピエ図書館が3週間停止になりましたが、そのような情報も早くから収集し、利用者の希望図書をできる限り提供できるよう対応しました。

大会等は、担当職員全員が出席することは難しいので、職員間での情報共有を徹底し、全国の状況を図書館としてしっかり把握するよう努めました。

Ⅲ 事業報告

1. 図書館サービス

2023年度の貸出実績は、点字図書が225タイトル（511冊）、CD図書が2,208タイトル（2,279枚）、テープ図書が50タイトル（350巻）でした。

2022年度、点字図書は279タイトル（690冊）、CD図書は2,312タイトル（2,353枚）、テープ図書87タイトル（460巻）でした。どの媒体も利用は減少傾向にあります。一方、サピエ図書館で直接点字データやデジターデータをダウンロードして読書をする利用者が増加しており、当館でもその操作方法などを指導・訓練しています。テープ図書の貸出は、より減少していて、媒体としての役目を終えようとしています。

またサピエ図書館に登録している当館蔵書の年間ダウンロード総数は、点字データが延べ利用者595人に対して237タイトル（845巻）、デジターデータが延べ利用者12,8

17人に対して1,898タイトル(14,501時間10分)で、全国の方に利用していただきました。

利用者がどのような図書を希望しているのか、丁寧なレファレンスサービスを行い、ご希望に沿った図書を提供しました。また、製作されていない図書はリクエストとして受け付け、プライベートサービスにおいても対応しました。対面朗読サービスについては、立地条件もあり、利用していただくまでには至りませんでした。利用者が通いやすい公共図書館を紹介させていただきました。今後も地域の図書館等と連携を図り、利用者が情報収集しやすい環境を作っていきます。

2. 図書製作

点字図書の製作は、23タイトル(53冊)、デジタイズ図書は86タイトル(86枚)でした。デジタイズ図書の製作数が2022年度は243タイトル(243枚)で大幅に減少しているのは、「フィラデルフィア・声の文庫」のテープ図書のデジタイズ化が終了したためです。テープ図書の製作については、すでに終了しております。

図書製作リクエストについては、当館の蔵書方針に合致しているものは、蔵書として製作しました。蔵書方針に合致していないリクエストもありましたが、断るのではなく、他の図書館へ相談し、製作していただけるようにするなど、連携して利用者の情報提供に努めました。

プライベートサービスは、点字については2022年度の4倍にあたる16タイトルの依頼があり、速やかに製作し、利用者に届けました。録音については、106タイトルのデジタイズデータのコピーサービスを行い、利用者が手元に置き、いつでも楽しめるよう提供しました。個人的に必要な資料を扱うこのサービスは、利用者にとって大切なサービスであると実感しています。今後も利用者のご希望に沿って製作していきます。

3. ボランティア養成

点訳ボランティアについては、点訳校正勉強会を毎月開催しました。Zoomによるオンライン方式で行い、点訳の疑問を持ち寄り、職員やボランティア同士で検討したり、問題を解きながら点訳技術のスキルアップを図り、モチベーションを上げて活動できるような場を作りました。

音訳ボランティアについては、音訳勉強会を11回、音訳校正勉強会を10回、その時の状況に応じてZoomによるオンライン、ハイブリッド、現地開催等、さまざまな体制で対応しました。音訳ボランティアの勉強会は、外部講師によるスキルアップ研修が再開され、「読み」に特化した濃い内容で、音訳技術の向上につながりました。また、音訳の悩み等、職員とボランティア同士で話し合い、解決策を共有し、日々の活動が安心して速やかにできるような勉強会となりました。

2023年度は、第2回となる点訳・音訳合同勉強会を開催しました。点訳活動だけでなく、若い世代に点字や視覚障害について普及に努めるボランティアが講演し、出席しているボランティアも意見を出すなど、参加型の充実した、大変有意義な勉強会となりました。

音訳では、近隣で活動しているグループが当館の蔵書製作に協力していただけることになり、人員が増加しました。また、話し合いの場を設けてロゴスの蔵書製作についての説明、グループの活動状況など情報交換を行い、お互いの理解が深まる機会ともなりました。

テキストデータ化・テキストデイジーのボランティアについては、研修会に参加した方々を中心に、複数のグループで活動を始めました。視覚障害職員に検証を依頼し、製作の手順等が整いました。機材やソフトについて、他の図書館とも相談し、より活動しやすい体制を作っていきます。

4. 地域貢献（点字教室、ICTサポート）

来館できる方を対象にした見えない・見えにくい方のための点字教室を月2回、1人1コマ60分の単位で実施しました。個々の目標やレベルに合わせたテキストを使用し、講師とマンツーマンで点字を学んでいます。また、講師が点字に限らず日常生活の相談に対応しており、楽しく安心して受講していただいています。

ICTサポートでは、スマートフォンやパソコン操作、ソフトの紹介などについて、来館のほか電話での相談にも対応しました。また、東京都のIT支援者関係連絡会に出席し、各施設の情報交換を行い、今後のICTサポート支援のあり方を考える良い機会となりました。

5. 行事

「カトリック点字図書館・ロゴス点字図書館70周年記念式典」を11月18日（土）に日本カトリック会館のマレラホールで無事開催することができました。コロナ禍の状況が不安定だったため、関係者のみの参加としましたが、60名以上の方々に足を運んでいただきました。いままでロゴスに関わってくださった皆様に感謝し、心新たにできる機会となりました。なお、この式典の様子は当館のホームページで報告し、第2部の菊地功理事長による講演は、音声をストリーミング再生できるようにしました。また利用者を楽しんでもいただけるよう、録音をもとにデイジー編集を行い、デイジー図書の新蔵としました。

2023年度の行事は記念式典のみでしたが、今後は講演会「ロゴスの文化教室」ほか、利用者、支援者の皆さんが一体となれるような行事を検討して参ります。

6. 定期刊行物・出版

支援者向けニュースレター「通信あけのほし」を年4回発行しました。利用者向け新刊図書案内「ロゴスのほん箱」は隔月で発行しました。「ロゴスのほん箱」2月発行分には、その地域の利用者もいることから、能登半島地震のお見舞いと、図書返却への対応、視覚障害支

援の窓口案内などをお知らせした手紙を同封しました。

有料のものについては、カトリック教会のミサで用いる「聖書と典礼」の点字版を発行しました。「聖書と典礼」デイジー版は試作の検討が終了し、2024年度から提供できることになりました。

点字出版については、最新版の「点字技能検定試験の対策」を中心に出版し、大阪大司教区発行の「大阪カトリック時報」等の受託製作をしました。

7. 関係機関との連携

2023年度は関東地区点字図書館協議会会長館として事務局を担当し、総会、春期研修会の開催のほか、会費徴収、秋期研修会事務等、滞りなく処理できました。任期はあと1年の2024年度までです。

近隣地域の公共図書館や類縁機関との協力は、公共図書館が当館を紹介する企画があり、資料の提供等を行いました。その図書館へ伺った際には、障害者サービスについて話し合い、連携を深めました。また、類縁機関の資料館から視覚障害者対応のイベント協力要請があり、広報先を紹介したり、当日は当館の視覚障害職員も参加しました。このご縁を今後も生かし、視覚障害者等の生活を少しでも豊かにできるよう、努めたいと思います。

ロゴスでは、引き続き全国視覚障害者情報提供施設協会の各委員として、それぞれのプロジェクトに参加しました。全国の動きを確認し、当館の図書館としてのあり方を見直すことができました。また、コロナが収束して現地開催での大会、研修会にも出席して、他の施設の職員と交流を図りました。

主な委員等は以下の通りです。

- ・ 関東地区点字図書館協議会 事務局（会長）
- ・ 日本点字委員会 委員
- ・ 全国視覚障害者情報提供施設協会 サービス委員
- ・ 同協会 同委員 著作権プロジェクト
- ・ 同協会 録音委員 音声デイジーデータ登録団体資格審査プロジェクト
- ・ 同協会 点訳委員 資料類整備プロジェクト

8. 法人業務・会議体

2023年度は書面による決議も含め、理事会4回、評議員会2回、監事による決算監査を1回開催しました。評議員選任・解任委員会を開催し、評議員1名を選出しました。また、役員の変更が行われました。理事会での主な議題は、2022年度事業報告、2023年度補正予算、2024年度事業計画並びに予算等でした。評議員会では、決算、役員の選任等が審議され、全会一致で承認されました。

IV 統計データ

1. 貸出数

①資料の貸出

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
総貸出数	225	511	50	350	2,208	2,279
個人への貸出	77	219	5	36	394	412
他館への貸出	21	59	41	310	638	691
他館より借受貸出	127	233	4	4	1,176	1,176

②分類別貸出数

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
0 総記	1	2	0	0	23	23
1 哲学	102	278	10	75	502	547
2 歴史	5	15	3	22	95	95
3 社会科学	25	44	0	0	120	120
4 自然科学	8	21	2	6	72	96
5 技術	2	5	1	8	20	20
6 産業	1	1	0	0	8	8
7 芸術	9	18	0	0	187	189
8 言語	1	1	0	0	3	3
9 文学	31	81	30	228	1,068	1,068
J 児童図書	40	45	4	11	110	110
合計	225	511	50	350	2,208	2,279

2. サピエ利用状況（当館製作データ）

① 点字データ ダウンロード数

237タイトル 845巻 延べ利用者595人

② デイジーデータ ダウンロード数

1,898タイトル 14,501時間10分 延べ利用者12,817人

③ デイジーデータ 再生数

984タイトル 1,347時間35分 延べ利用者3,747人

3. 蔵書数

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
総蔵書数	2,443	7,920	5,144	28,494	4,274	4,346
自館製作	1,828	5,814	4,697	26,160	2,866	2,876
他館製作	5	36	10	59	2	4
寄贈	364	1,291	431	2,180	1,399	1,437
購入	246	779	6	95	7	29

※今年度除籍数 点字図書 29タイトル 110巻

4. プライベートサービス

① 点訳 16件 2,480ページ

② 点字データ 打ち出しサービス 28件 4,950ページ

③ デイジーデータ コピーサービス 29件 106タイトル